

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

| | | | | | |
|-----|------|----------|------|-----|------------|
| 学校名 | 熊本大学 | 個人・グループ名 | 國吉晃平 | 作品名 | クリアBOX 整理棚 |
|-----|------|----------|------|-----|------------|

○製作の動機

自分が配属される研究室には、自分専用の机があるため、その机の上に教採対策の資料や筆記用具、貴重品、ひとときの休息のときに食べるお菓子などを置けるものがほしいと思い、今回このような作品を製作した。製作するにあたって、整理棚に『何を入れたいか』を先に考え、その上で『どれくらいの大きさが必要か』『全体的な大きさは適当であるか』などを考えた。今回は写真にあるように、整理棚はそれぞれ100均一に売ってあるクリアボックスを使用しており、木材で引き出しを作ると、『本体に入る引き出しを作るのが難しい』『引き出し分の木材のコストがかかる』『中身が見えない』といった理由から、クリアボックスを利用することにした。



○利用方法

- ・ 教員採用試験や卒論などの勉強をするとき
- ・ ひとときの休息のとき
- ・ すぐにペンを使いたいとき
- ・ 机の上を掃除するとき

○工夫したポイント

- ・ 今回は、すべてスギ(12mm×102mm×1000mm)を使用し、低価格におさめた。奥行きが足りない部分は、写真①のように、いらぬ廃材を使い、『やといぎね』の方法で3枚の板を組み合わせ、板の拡大をはかった。
- ・ 木口面が目立たないように、天板部分を写真②のように目立たなくさせた。
- ・ 写真③では、余ったスギの廃材を利用して、メモ書きするときに、すぐにペンを使えるようなスペースを用意した。このスペースを用意することで、廃材をできるだけ少なくするようにもした。また、ペン置きスペースにくぎを打ち、そのくぎに、消しゴムのカスなどで散らかっている机の上を掃除するちりとりをかけられるようにした。

↓写真①



↓写真②



↓写真③

